

第15回(2019年)全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 審査講評

<各賞の講評>

ユニークデザイン部門

モノづくり日本会議賞： オルニス・ハイレイン (鳥取大学)

2回目の挑戦となるクロスフローファンを活用したプロペラなしのユニークな機体を飛ばした点を評価した。

アイ・ロボティクス賞： QTF (大阪大学)

マルチコプターのフレームを変形させることで狭隘な領域の飛行を可能とする機体を制作し飛行させた点を評価した。

ベストデザイン賞

ボーイング・ジャパン賞： Alsomitra (東京農工大)

翼型設計の点から始まり、水平尾翼無し機体を安定させて飛行させるための検討を緻密に考え、それに基づいて機体を設計し、飛行させた点を評価した。

エアバス・ジャパン賞： アマツバメ (金沢工大)

自動離着陸等多くの自動制御ミッションを(予選であるが)達成した点を評価した。システム全体設計のレベルの高さが感じられた。

ベストパイロット賞

ANA 賞： Twin TV-mover (都立産業技術高専)

舵面が無く推力偏向機構のみを有する機体で縦と横・方向の姿勢を制御し飛行させた点を評価した。

東急賞： AWS Fighter-EX (秋田高専)

操縦が困難と思われる翼端を可動とした機体を飛行させた点を評価した。

ベストクラフト賞

羽生田鉄工所賞： Prove (名古屋大学)

3Dプリンターを活用し、製作精度の高い機体を開発した点を評価した。

日本製鐵賞： HIGO コプター (崇城大学)

残念ながら飛行競技では失敗したが、脱プラスチック時代にふさわしい竹を多用したマルチコプター機を製作した点を評価した。

ベストプレゼンテーション賞

東京航空計器賞： Black rock (東京農工大)

訴えたい点を視覚的に明確に表したポスターを作成した点を評価した。

住友精密工業賞： ANIMA (早稲田大学)

RSS 機構により機体の運動性を高めた点について、ポスター上でわかりやすく説明した点を評価した。